【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成16年10月14日(2004.10.14)

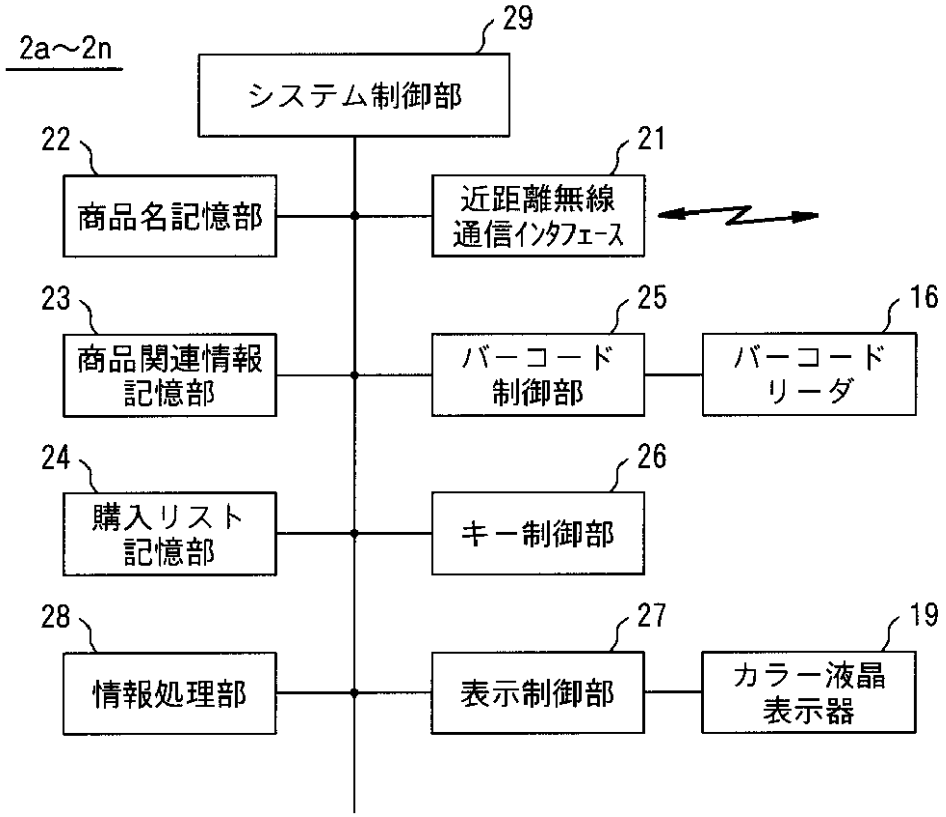
【公開番号】特開2001-243308(P2001-243308A)
【公開日】平成13年9月7日(2001.9.7)
【出願番号】特願2000-50154(P2000-50154)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ０６Ｆ　17/60
　Ｇ０６Ｆ　13/00
　Ｇ０７Ｇ　 1/00
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　15/21　　ＺＥＣＺ
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５４Ｄ
　Ｇ０７Ｇ　 1/00　　３０１Ｄ
　Ｇ０７Ｇ　 1/00　　３３１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成15年10月6日(2003.10.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
そして、各携帯型情報端末２ａ～２ｎの夫々は、図５に示すように、前述したパーソナルコンピュータ４ａ～４ｃの近距離無線通信インタフェース７と同様の構成を有する近距離無線通信インタフェース２１と、バーコードリーダー１６又は入力キー１８で入力した商品名情報を記憶する商品名記憶部２２と、取得した商品関連情報を格納する商品関連情報記憶部２３と、購入商品のリストを記憶する購入リスト記憶部２４と、バーコードリーダー１６を制御するバーコードリーダー制御部２５と、各種入力キー１７ａ～１７ｅ及びテンキー１８を制御するキー制御部２６と、カラー液晶表示器１９を制御する表示制御部２７と、商品名記憶部２２に記憶された商品名情報に基づいて商品関連情報を取得する制御を行う情報処理部２８とを備えており、これらがシステム制御部２９によって統括制御される。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
一方、前記ステップＳ３でバーコードが入力されたとき及び前記ステップＳ４で数字コードが入力されたときには、ステップＳ９に移行して、入力されたバーコード又は数字コードを商品名情報として、商品名記憶部２２に記憶してからステップＳ１０に移行して、商品関連情報取得キー１７ａが押下されているか否かを判定し、これが押下されていないときには、ステップＳ１１に移行して、購入キー１７ｂが押下されているか否かを判定し、これが押下されていないときには前記ステップＳ９に戻り、商品関連情報取得キー１７ａが押下されているときには、商品関連情報を取得する意志があるものと判断して、ステップＳ１２に移行する。
【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
このステップＳ１２では、商品名記憶部２２に記憶されている商品名情報を含むパケットを形成し、このパケットの先頭にマスタとなるパーソナルコンピュータ４ａ～４ｃの何れかのＭＡＣアドレスを設定した宛て先アドレス及び自己のＭＡＣアドレスを設定した送信元アドレス等を含むヘッダを付加した送信データを形成し、この送信データをアクセスポイント３ａ～３ｃを介してデータベースサーバー６に送信する商品名情報送信処理を行ってからステップＳ１３に移行する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
このステップＳ１３では、商品関連情報を受信したか否かを判定し、商品関連情報を受信していないときには受信するまで待機し、商品関連情報を受信したときには、ステップＳ１４に移行して、受信した商品関連情報を商品関連情報記憶部２３に格納してからステップＳ１５に移行し、商品関連情報記憶部２３に格納されている商品関連情報を読出し、これを表示制御部２５を介してカラー表示器１９に出力することにより、商品名関連情報を表示してからステップＳ１６に移行する。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
このステップＳ１６では、購入キー１７ｂが押下されているか否かを判定し、購入キー１７ｂが押下されているときには、ステップＳ１７に移行して、商品名記憶部２２に記憶されている商品名情報を購入リスト記憶部２４に書込んでから前記ステップＳ１に戻り、購入キー１７ｂが押下されていないときには、ステップＳ１８に移行して、購入取り消しキー１７ｃが押下されているか否かを判定し、これが押下されていないときには前記ステップＳ１６に戻り、押下されているときには前記ステップＳ１に戻る。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６２】
この状態で、消費者が所望の野菜の商品関連情報を知りたいときには、先ず、携帯型情報端末２ｉの商品関連情報取得キー１７ａを押下する。この状態で、例えば袋詰めされている野菜の商品関連情報を知りたいときには、その包装袋に貼着されているバーコードをバーコードリーダ１６で読取ることにより、この商品名情報が商品名記憶部２２に記憶されると共に、商品名情報を含むパケットを形成し、このパケットにリンクを確立した際に入手したマスタとなるアクセスポイント３ａのパーソナルコンピュータ４ａのＭＡＣアドレスを送信先アドレスとし、自己のＭＡＣアドレスを送信元アドレスとして設定したヘッダを付加して、近距離無線通信インタフェース２１に出力し、アクセスポイント３ａに対して送信する。

【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００７９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００７９】
すなわち、携帯型情報端末２ａ～２ｎのＭＡＣアドレス毎に、ログ情報をソートすることにより、パーソナルコンピュータ４ａ～４ｃのＭＡＣアドレスと受信時刻との関係を分析することにより、顧客の移動経路、買い物所要時間、売り場での滞留時間等を把握することができ、ＭＡＣアドレス毎のアクセスした商品名情報と最後の精算時の購入リスト情報とを比較することにより、商品関連情報を取得した商品を購入したか否かを把握し、これによって顧客の興味や嗜好を把握することができる。さらに、パーソナルコンピュータ４ａ～４ｃのＭＡＣアドレス毎にログ情報をソートすることにより受信時刻からアクセスポイント３ａ～３ｃ即ち売り場の時刻毎の混雑状況を把握することができる。この他、携帯型情報端末２ａ～２ｎを使用して商品関連情報をアクセスしたときに、該当商品と同等の他の商品がある場合には同等商品が存在することのメッセージを付加したり、特売商品、推薦商品、売れ筋商品のメッセージを付加することもでき、さらには、アンケート情報を送信して、その回答を収集することにより、顧客の要望や質問等を把握して、商品の品揃えや商品の仕入れ先の変更等に反映させることもできる。
【手続補正８】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図５
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図５】


2a～2n
29
システム制御部
22
商品名記憶部
21
近距離無線
通信インタフェース
23
商品関連情報
記憶部
25
バーコード
制御部
16
バーコード
リーダ
24
購入リスト
記憶部
26
キー制御部
28
情報処理部
27
表示制御部
19
カラー液晶
表示器